

第三次四万十市子ども読書活動推進計画の目標値等中間見直し表

(令和8年3月作成)

令和7年度四万十市子ども読書活動推進委員会において、本年度の取組状況について確認協議を行いました。昨年度の同推進委員会以降課題としていた、出生数の低下や環境変化を考慮し、計画の指標・目標値等の見直しを行いました。

第1節 家庭等における読書活動の推進

- 4 市立図書館におけるおはなし会や絵本の紹介を通して、保護者が子どもと絵本を楽しむきっかけを作ります。また、対象年齢に合わせて絵本の楽しさ・大切さを子どもと保護者に伝えることができるよう取り組みます。

指 標	R3実績値	R9目標値	R9修正目標値
乳児対象おはなし会の実施	未実施	実施	
市立図書館でのおはなし会（読み聞かせ）の参加者数を 拡大する ⇒ 確保する	本館 286人 分館 186人	本館 300人 分館 200人	分館 100人

第2節 保育所等における読書活動の推進

- 5 週末等に家庭に絵本を積極的に貸し出し、保護者と子どもと一緒に絵本を楽しむ環境を作ります。

指 標	R3実績値	R9目標値	R9修正目標値
保育所からの貸出絵本について「読んでいる」の割合を増やす	93.9%	97%	95%

第4節 市立図書館における読書活動の推進

- 1 赤ちゃんから多感な時期の高校生まで、子どもの成長、発達段階に応じて、長く読み継がれる良質な図書はもちろん、視野を広げ、好奇心を育む自然科学系等様々な分野の、多種多様な資料の充実を図るとともに、**児童書の貸出冊数の増加に努めます。**

指 標	R3実績値	R9目標値
児童書の個人貸出冊数の増加	44,835冊	47,080冊



- 1 赤ちゃんから多感な時期の高校生まで、子どもの成長、発達段階に応じて、長く読み継がれる良質な図書はもちろん、視野を広げ、好奇心を育む自然科学系等様々な分野の、多種多様な資料の充実を図るとともに、**児童書等（YAを含む）の一人当たりの貸出冊数の増加に努めます。**

指 標	R3実績値	R9目標値
児童書等の一人当たりの貸出冊数の増加	10.2冊	11冊

※R3実績値 44,835冊を当時の一人当たりに換算し 10.2冊

- 4 市立図書館で行っているおはなし会に、乳児対象時間を設け、絵本の楽しさ・大切さを保護者に伝える機会を拡充します。(再掲)

また、子どもの読書週間に合わせた行事や、子どもを対象としたイベントを積極的に行い、読書の大切さや楽しさを伝える機会とするとともに、本やインターネット等様々な情報源から目的に応じた情報収集を行い、活用することができるような取り組みも検討します。

指 標	R3実績値	R9目標値	R9修正目標値
乳児対象おはなし会の実施	未実施	実施	
市立図書館でのおはなし会（読み聞かせ）の参加者数を 拡大する ⇒ 確保する	本館 286人 分館 186人	本館 300人 分館 200人	分館 100人
市立図書館が実施することも読書活動に関する事業の総参加者数を 拡大する ⇒ 確保する	本館1,574人 分館 459人	本館1,660人 分館 490人	本館1,000人 分館1,000人

※本館 1,000人（各保育所読み聞かせ訪問2回から1回に減少）

分館 1,000人（保育所月1回、小学校月2回、中学校月1回読み聞かせ訪問再開）

- 6 保育所や小中学校への巡回文庫配本サービスを継続実施し、子どもたちに本を届けます。合わせて、学校からの調べ学習資料や並行読書希望図書の配送サービス等の支援体制整備に努めます。

指 標	R3実績値	R9目標値	R9修正目標値
保育所、小中学校への一人当たりの貸出冊数（巡回文庫含む）の 増加 ⇒ 保育所、小中学校への一人当たりの貸出冊数（巡回文庫含む）の 維持に努め、支援体制整備の継続	(保) 5.5冊 (小) 4.1冊 (中) 3.4冊	(保) 6冊 (小) 5冊 (中) 4冊	(保) 5冊 (小) 5冊 (中) 終了

※保育所は計画策定当初より4園減少、中学校は統合により小規模校への巡回文庫貸出終了